

II. 1. 刊行物等

○ 紀要『言語文化研究』

『言語文化研究』第49号(2023) 目次

【学術論文】

- 植田 晃次 日本近代朝鮮語教育史の視点から見た島井浩と朝鮮語
— 対馬から釜山の日本人社会に渡り一生を送った人—
- 岡本 淳子 スペインの劇作家アルフォンソ・サストレと検閲
— 1950年代後半以降の上演許可申請をめぐる—
- 坂内 千里 『説文解字繫傳』「通論篇」考(二)
- 霜鳥 慶邦 虹の向こう側の「世界」
— D・H・ロレンス『虹』と帝国主義—
- 高橋 健一郎 ニコライ・メトネルの音楽哲学におけるメタファー体系
- 濱田 洋輔 漱石の文学理論:
文学者の営みという観点から見たその基礎と道德観
- 宮本 隆史 英領インドの文明化の使命と監獄改革: 北西州における監獄行政の導
入と展開

【研究ノート】

- 大塚 行誠 ティディム・チン語の中動態標識 ki3- に関する覚書
- 北田 信 【翻訳】ダカニー・ウルドゥー物語詩『愛の花園』より
- WILLIAMS Richard 宴席の装飾, 絵画と絨毯, 音楽と舞踊
- 宮原 暁 エスノグラファーは「書くことが躊躇われること」をどう記述し得るか
— ある華僑の経歴に関するテキストをめぐる—
- 林 貴哉
- 岡野 翔太(葉 翔太) フィリピン語の動詞を伴う存在文と所有文の誤用分析
— 中級学習者の文における文法上の正確さに着目して
- MIYAWAKI, Satoshi 203 Discourse of the Catholic Church in the Philippines on the National
Elections since 2009: An Analysis of CBCP Pastoral Statements
- RUIZ, Frieda Joy Angelica Definition of “Filipino Roots” among Filipino High School Students
in Osaka through Analysis of Speech Contest Scripts
- Olay

○ 言語文化共同研究プロジェクト 2022 目次

『自然言語への理論的アプローチ』

越智 正男	Notes on Plural Elements in Japanese: a Labeling Approach
邱 暁石	<i>De</i> as an Ateleic Marker of Mandarin Chinese
張 雨辰	Single Sentences With <i>Jiul</i> (就) Are Not Identical to Conditional Sentences: Testing <i>jiul</i> in downward-entailing environment
中野 晃希	焦点構造における繫辞の統語的分類
三藤 博	思考の言語と thought structure
宮本 陽一	Disjunction and the Type of Subject in the Kumamoto Dialect: A Pilot Study
山田 彬堯	「です」の分類 Elsewhere form としての丁寧語

『認知・機能言語学研究Ⅷ』

王 鈺	現代日本語の分離動詞における 2 種類の一体性について
蘇 曉笛	日本語の語彙的複合動詞「V1+詰める」の意味形成とその認知的メカニズム
田尾 俊輔・梶原 久梨子	Locative Sense “Point” of the English Preposition <i>At</i> : A Comparison with the French Preposition <i>À</i>
瀬戸 義隆	BA Imperative Conditional in Modern Japanese: With a Focus on Distributional Aspects
三野 貴志	Number Disagreement in <i>There</i> Sentences with Existence Verbs
葉 哲哉	現代日本語の「X-ぶり／-っぶり」に関する意味分析

『Cultural Formation Studies V』

木村 茂雄・小杉 世	はじめに
Amin Ghadimi	India in the Formation of Japanese Terrorism
Natsue Ambo	The Necessity of Gender Difference for AI: In Ian McEwan’s <i>Machines Like Me</i>
Md. Mamunur Rahman	Transcultural Translation Experience: On Translating Yasunari Kawabata’s <i>Snow Country</i> into Bengali
伊勢 芳夫	1930 年代の日・中の「歴史」創作について (1) ——「満洲国」言説の知の考古学的分析——
小杉 世	アレクシス・ライト『地平線の叙事詩』 ——先住民文学と難民文学をつなぐ水平（地平）線——

『「文化」の解説 (23) —文化とコミュニケーション—』

- Oliver Aumann Das Dao der Daoisten —Versuche über das Unsagbare zu sprechen—
李 潤澤 女が満洲を語る時
 —田中絹代『流転の王妃』(1960)を中心に—
- 徐 玉 女性スター共演の力学
 —『千羽鶴』(増村保造 1969)における女同士の関係—
- 山本 佳樹 プラッテンバウが運ぶ夢
 —東ドイツの住宅政策とデーファ映画—
- 胡 響楽 足のない鳥の傷はいかに語られるのか
 —『欲望の翼』(ウォン・カーウァイ 1990)におけるトラウマの表象—
- 津田 保夫 村上春樹と濱口竜介の『ドライブ・マイ・カー』
 —小説と映画の比較考察—
- 西出 佳詩子 学習成果発信型のリアルタイムオンライン授業
 —動画作成を取り入れたドイツ語授業実践—

『テキストマイニングとデジタル・ヒューマニティーズ 2022』

- 田畑 智司 プロジェクトの目的と活動
- 菅原 裕輝 南三陸の復興に関するハイパーリンク・エスノグラフィ
- 藤田 郁 A Study on Characteristic Sounds in Tennyson and Browning:
Using Stylometric Approaches
- 涌井 萌子 匿名政治パンフレットの計量的分析
—「レ枢機卿のマザリナード」の帰属検証—
- 曹 芳慧 Tess of the d'Urbervilles の会話部による
キャラクターライゼーション

『言語文化の比較と交流 10』

- 田中 智行 『金瓶梅詞話』所引「黄氏女卷」訳注稿
- 中 直一 森鷗外訳「戦僧」について
—翻訳底本との対比に見る鷗外訳の特質—
- 三浦 あゆみ Reception of Latin vocabulary and introduction of new words in *An Alphabet of Tales*
- 渡辺 貴規子 大正初期における翻訳少女小説の一様相
—エクトール・マロ原作『家なき娘』の初の邦訳をめぐって—

『応用会話分析研究 2022—ニューノーマルの達成・獲得を可視化する—』

- 岡田 悠佑 「欠落した相互行為資源」を用いたアイデンティティの達成
—学生間英語オンラインビデオ会議における語彙探索連鎖の分析—
- 古川 敏明 言語再活性化運動とニューノーマルの実践
—コロナ禍のハワイ語ウェビナー‘Ai Kole を事例として—
- 石野 未架 発言順番交替の規範にみるオンライン授業の「しんどさ」の記述
—大学生の英語ディスカッション場面を対象に—
- 勝部 三奈子・久次 優子 ハイフレックス型授業におけるディスカッション
—対面の学生による参加の管理—
- 福島 玲枝 英語初級学習者同士が「発話を構築する」ための手段 活動制限下での振
る舞いが示唆する外国語活動の可能性
- 菊池 春花 Locally Justifying Face Mask Removal in L2 Read-Aloud Sessions

『時空と認知の言語学XII』

- 井元 秀剛 自然言語で連言をあらわす「または」の意味について
- 王 周明 日本中国語教科書の形式および内容変遷による啓示 (二)
—拼音採用以前の中国語音声表記法ほかの実態概観—
- 高橋 克欣 談話解釈における時況節 *alors que* 節の機能
- 瀧田 恵巳 『デュランデ城』におけるダイクシス (その1)
—版によって *her-*と *hin-*が入れ替わる事例を中心に—
- 春木 仁孝 現代フランス語における二次的な色彩を表わす表現について
—*couleur* を中心に—
- 渡辺 伸治 *hin/her+gehen/kommen* の考察
—ニーベルンゲンの歌とトリスタンの原文/現代語訳を資料に—

『応用言語学における理論と実践 —研究と教育を通して—』

- 西田 理恵子 外国語学習者エンゲージメントの基本的概念：主体的学びへの導き
- Lee Shzh-chen Nancy Effects of form-focused instruction on EFL speaking development— Changes in syntactic accuracy over time
- 綱澤 えり子 言語学習における学習者信念研究の概観と展望

『レトリックと文法』

- 大森 文子 鏡と水仙
—シェイクスピアの *Sonnets* における隠されたレトリック—

渡辺 秀樹	<i>Hamlet</i> における動物名の繰り返しと列挙の意味 — 翻訳で失われるメタファー義の問題、そして雲の場を中心に —
村上スミス アンドリュー	翻訳手順の「補償」 — 翻訳で失われたものを補うために —
中嶋 浩貴	英語名詞由来 <i>er</i> 名詞の予備的考察
福本 広光	John・F・Kennedy の演説にみられる分離不定詞のレトリック効果
中村 瑞樹	規則に沿って生きること — アメリカ文学における野球規則を読む —
竹森 ありさ	色彩語 <i>red</i> を含む強意直喩表現の分析 — <i>red as blood / fire / rose</i> の比較 —
Doan Ngoc Minh Tran	フレーム意味論と直接スコープから見たベトナム語、日本語および英語の感情概念 — ベトナム語の <i>giận</i> 、日本語の「怒り」、英語の <i>anger</i> を比較して —
山倉 佐恵子	期待値からみた取り立て助詞 — 複合表現シハシナイの特徴をめぐって —
Luke Malik	Elizabeth Camp's Misreading of Davidson's Theory of Metaphor

『表象と文化 XX』

A. C. Дыбовский	Образы Токио в популярной японской песне (1)
遠藤 祐輔	デジタル／フィルム写真論の再考 — 内原恭彦のデジタル写真実践の先見性を通して —
林 千宏	ロンサール『恋愛詩集』(1552-1553) とニコラ・ドニゾ
川村 明日香	語りの変容による自己言及性の創出 — ディズニー映画『くまのプーさん』と「本」 —
Salagnon Benjamin	Travail en autonomie et intelligence artificielle : quelques exemples d'utilisation de ChatGPT dans l'apprentissage des langues
篠原 学	小説の技術とモラル ——ミラン・クンデラの大江健三郎評——

『英語教育の新たな実践に向けて(2)』

日野 信行	言語・文化・教育 — 実践と研究から —
小田 節子	中学校英語教員養成課程における発音教育
服部 拓哉	A Literature Review of English, Japanese, and Chinese Intonations
小口 一郎	Towards Interactive Dynamism: A Recent Current in Academic Writing Studies

『批判的社会言語学の現在』

- 呉 素汝 グローバリゼーション下の台湾「バイリンガル国家政策」
山下 仁 ジークフリート・イエーガーの装置分析の可能性
— 野呂香代子によるメルケル批判を例に —
周 氷竹 仮想のシナリオから見る障害者から障害者へのまなざし
— 複数の障害を持つ人の語りへの一考察 —
上田 直輝 (UEDA, Naoki) Unterscheidung von Sprachen und Dialekten
Warum ist das nur arbiträr möglich?
植田 晃次 「旧朝鮮語学」と「戦後」の朝鮮語教育の断絶と連続性小攷
— 残された学習書を手掛かりとして (1945-1965) —

『音声言語の研究 17』

- 梅野 真実 H[aiɛ]tus?
郡 史郎 宮崎の「無アクセント方言」の談話音調
— 青島地区の場合 —
夏目 琢磨 Phonological analysis of consonance: A case study of a 19th-century poet's
works

『ことばと社会②』

- 榎本 剛士 「クオリア」について
— コミュニケーション分析に援用するための理論的基礎考察 II —
張応謙 インタビューナラティブにおける差別の表象
— 新型コロナウイルス体験談における地域的差別を例に —
セメノワ・アナスタシア Our girls started to get lost”:
How female sexuality is discussed in ethnic talk-show

○言語文化共同研究プロジェクト 2024 一覧

○言語文化共同研究プロジェクト 2024 一覧

整理番号	共同プロジェクト名	研究代表者	研究分担者(人数内訳)		
		氏名	氏名	教員	院生等
1	テキストマイニングとデジタル・ヒューマニティーズ 2024	田畑 智司	(教員)三宅 真紀、今尾 康裕、ホドシチェク ボル、山田 彬堯、吉賀 夏子、菅原 裕輝、高橋 新(大阪大非常勤講師)、徐 勤(京大)、南澤 佑樹(外国学専攻)、浅野 元子(大阪医科歯科大)、藤田 郁(比治山大) (院生等)曹 芳慧、福本 広光、涌井 萌子、カミレツリ G.、ボガジャ D.、王 簫影、李 晨婕、肖 媛媛	11	8
2	応用言語学における理論と実践 -研究と教育を通して-	西田 理恵子	(教員)Lee Shzh-chen Nancy、金澤 佑、Dorota Zaborska (院生等)網澤 えり子	3	1
3	ことばと社会④	秦 かおり	(教員)佐藤 彰、榎本 剛士、岡本 能里子(東京国際大) (院生等)稲葉 皐、岸田 月穂、山口(今野)篤美、セメノフ・アナスタシア、李恒聡、張 応謙、山本 由実、周 氷竹	3	8
4	Cultural Studies VI Formation	ガデミ アミン	(教員)伊勢 芳夫(名誉教授)、小倉 永慈(名古屋外国語大)、北井 聡子、木原 善彦、小杉 世、木村 茂雄(名古屋外国語大)、ラハマン マムヌール(イスラム大(バングラデシュ))、石倉 綾乃(神戸女学院大非常勤講師)、桑原 拓也(奈良県立大) (院生等)王 立瑯、王 立瑩、東浦 可奈、周品回、安保 夏絵(博論申請資格者)、幅谷 和真(博論申請資格者)、舞 さつき(博論申請資格者)	9	7
5	自然言語への理論的アプローチ	ヤン ムイ	(教員)由本 陽子(名誉教授)、宮本 陽一、越智 正男、山田 彬堯、杉本 侑嗣 (院生等)宮前 純子、邱 曉石、張 雨辰、大谷 修樹、岡田 千佳、張 栩、永野 大夏、Zheng Haowen、Chen Yunwen	5	9
6	認知・機能言語学研究X	小栗 哲哉	(教員)高橋 克欣、中寫 浩貴、瀬戸 義隆(大阪大マルチリンガル教育センター)、田尾 俊輔(大阪大共創大学院学位プログラム推進機構)、早瀬 尚子(龍谷大)、坂場 大道(立命館大) (院生等)王 鈺、大井 良友(博論申請資格者)、梶原 久梨子、小林 拓海、蘇 曉笛、孫 聰雨、	6	6

7	「文化」の解説(25) —文化と環境—	山本 佳樹	(教員)津田 保夫、西出 佳詩子、鈴木 啓峻、AUMANN Oliver、徐 玉(名古屋大) (院生等)胡 響樂、劉 雅欣、劉子璿	5	3
8	言語文化の比較と交流 12	佐高 春音	(教員)中 直一(名誉教授)、鈴木 大介、田中 智行、中村 綾乃、平山 晃司、三浦 あゆみ(東京大)、渡辺 貴規子 (院生等)任天楽	7	1
9	時空と認知の言語学 XIV	王 周明	(教員)渡邊 伸治、瀧田 恵巳、井坂 ゆかり、春木 仁孝、井元 秀剛、高橋 克欣、田村 幸誠、八木 堅二、劉 羸 (院生等)-	9	0
10	表象と文化 XXII	林 千宏	(教員)北村 卓、ガラベ クリストフ(神戸大)、サラニョン バンジャマン、篠原 学(外国学専攻)、デルベス セバスチャン、バルカ コランタン (院生等)川村 明日香、権田 彩良、遠藤 祐輔	6	3
11	応用会話分析 2024 —政治経済外交の相互 行為実践2—	岡田 悠佑	(教員)古川 敏明(早稲田大) (院生等)福島 玲枝、菊池 春花	1	2
12	“The Rhetoric IS the Message” 「レトリックはメッセージである」—修辞・意味・認知の関わり—	村上スミス・アンドリュウ	(教員)大森 文子、田村 幸誠、高橋 克欣、中罵 浩貴、Malik, Luke、渡辺 秀樹(名誉教授)、Yokota, Gerry(名誉教授)、中村 瑞樹(外国学専攻) (院生等)福本 広光、竹森 ありさ、山倉 佐恵子、Doan Ngoc Minh Tran、劉 婉儀、権田 彩良	8	6
13	批判的社会言語学の地平	植田 晃次	(教員)山下 仁、小川 敦(法政大) (院生等)上田 直輝、王 滢鵬、川端 映美、陳 凱歆	2	4
14	音声言語の研究 19	山本 武史	(教員)郡 史郎(名誉教授)、韓 喜善(大阪樟蔭女子大/大阪国際教育交流センター招聘准教授) (院生等)梅野 真実、夏目 琢磨、土川 京子、蔵満 啓太(外国学専攻)	2	4